

# 島根県立農林大学校

- Shimane Prefectural College for Agriculture and Forestry -

学校要覧  
2017





# 沿革

- ◆昭和 10 年 三瓶農民道場設立  
昭和 20 年 開拓増産修練農場 に改称  
昭和 21 年 三瓶修練農場 //
- ◆昭和 23 年 三瓶農事指導所 //
- ◆昭和 24 年 三瓶経営伝習農場 //
- ◆昭和 26 年 三瓶経営伝習農場を廃止し、  
農業経営研修所を農事試験場に併設
- ◆昭和 38 年 農林総合研修所を出雲市に新設  
付属施設  
養蚕研修所  
畜産研修所  
林業研修所
- ◆昭和 54 年 農林総合研修所を廃止し島根県立農業大学校新設
- ◆昭和 56 年 大田市に移転
- ◆昭和 57 年 農業大学校に養成部門、研修部門を置き新農業大学校となる
- ◆平成 18 年 林業科飯南町（中山間地域研究センター内）へ移転
- ◆平成 24 年 農林大学校に改称、有機農業専攻を新設



## 教育の目的と基本方針

目的	次代の島根県の農林業をリードする農業者及び森林管理技術者の養成
基本方針	<ul style="list-style-type: none"><li>● 高度な農林業技術と専門的知識を習得し、経営管理能力を養う。</li><li>● 広い視野に立って農林業を考え、技術革新、経営改善に積極的に取り組み、新しい農林業を創造する能力を養う。</li><li>● 先見性を持って流動的な社会情勢に対応するための分析力、判断力、行動力を養う。</li><li>● 農林業生産及び農山村社会におけるリーダーとして必要な指導力、企画力、調整力を養う。</li></ul>
教育の特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>● 実習を重視した実践教育 午前講義、午後実習が日課の基本／毎日が必須授業／農業者、森林管理技術者になるための専門学習に特化</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学生主体のプロジェクト学習 講義で学習したことを実習を通じて実践的・総合的に学習／学生が各自のテーマを持ち、主体的に実習に取り組む</li></ul>

## 教育体系

本校には養成部門と研修部門の2部門があります。

### 養成部門

高校卒業程度を対象にした2年間の学習課程

### 研修部門

新規就農希望の方、農林業経営の改善を図りたい方などのためのさまざまな研修を実施

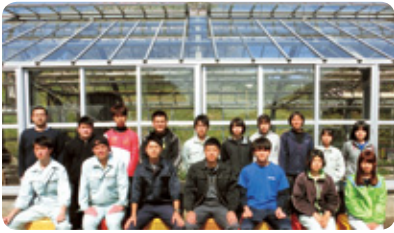
# 養成部門

- ・入学資格は高校卒業程度
- ・希望入寮制

科名	専攻	定員	修業場所	修業年限
農業科	有機農業	30人	大田市波根町	2年
	野菜			
	花き			
	果樹			
	肉用牛			
林業科		10人	飯石郡飯南町上来島	

## 農業科

### 有機農業専攻



本専攻は平成24年度に全国に先駆け新設されました。有機農業の理念や、水稻と野菜の化学肥料や化学農薬を使わない土づくり、病虫害対策、雑草対策や有機JAS認証制度を学び、栽培技術を実習で習得します。また県内の有機農業実践農家6経営体（グループ）による現地事例の講義や視察、農家体験受入れを通して有機農業の実践的で幅広い考えを習得できます。

### 野菜専攻



本県の主要野菜であるメロン、トマト、きゅうり、いちごなどの栽培に取り組んでいます。野菜の基礎をしっかりと学習しながら、学生自らが1棟ずつハウスを担当して栽培計画を作成し、育苗から収穫・出荷まで、責任を持って栽培管理を行うことで、一貫した栽培技術と経営感覚を身につけます。また、新技術としての島根型養液栽培システムや、美味しまね認証を取得してトマトの栽培や販売を行うなど、新たな取り組みにも挑戦を続けています。

### 果樹専攻



本県の主要果樹であるぶどう、西条柿、梨をはじめ今後消費拡大が期待されているブルーン、サクランボ、スモモ等を栽培しています。ぶどうのシャインマスカットや梨のなつしずく等の新品種や養液土耕栽培システム、ジョイント仕立て等の新技術を導入しながら、先進的果樹経営を目指して、日々の実践を通じて栽培技術・知識を習得します。

## 林業科



森林の適切な管理方法や高性能林業機械を使用した木材の伐採、搬出など「森林を守り・育て・活かす」という視点に立って、森林・林業に関する知識や技術を実習中心のカリキュラムを通じて習得します。2年生の専攻実習においては「森林プランナーコース」と「森林エンジニアコース」のいずれかを選択し、森林経営の企画・提案力の向上、効率的な木材生産技術の向上に取り組めます。

### 花き専攻



きく・トルコギキョウ・シクラメンなどの「島根の花」振興品目を基本とし、学生の主体性を重視して、栽培計画の作成、栽培（播種・育苗・栽培管理・収穫）、出荷、結果の発表と、栽培から販売まで一貫した栽培技術と経営感覚を取得します。また、環境にやさしい花き栽培を認証するMPS認証や花育など、「ここでしか学べない」ことにも挑戦しています。

### 肉用牛専攻



優秀な肉用牛経営の担い手を育成するため、家畜飼養管理、家畜栄養飼料、家畜繁殖、牛胚移植概論及び畜産経営などを学び、畜産に必要な幅広い知識を身に付けます。農場では繁殖・肥育一環経営を軸に肉用牛の生産・管理技術を身に付け、大型農業機械による飼料作物の栽培・収穫・貯蔵技術を実践します。また、家畜人工授精師、削蹄師、家畜商や大型農業機械などの資格にも挑戦します。



## 在校生からのメッセージ

有機農業専攻2年  
江角 健



私が農林大学校の有機農業専攻を志望した理由は将来、体に安心安全な作物を作りたいと思ったからです。有機農業専攻では、化学肥料や化学農薬などを使わず自然の力に頼った方法で作物を自分で育てるということを体験できます。二年生になると卒論プロジェクトが始まります。卒論プロジェクトでは、最初から最後まで自分で考え作物を育てることができます。途中、思うように行かないことがあります。先生や仲間たちに聞くことで、他の人の考えを自分のものにできるので、大変勉強になります。また、畑では一日一日と生長していく作物の状態を間近で観ることができるのでとても感動します。

有機農業というものに少しでも興味関心がある方は、ぜひ有機農業専攻に入り2年間素敵な仲間達と一緒に楽しみましょう！



野菜専攻2年  
佐藤 健吾

野菜専攻では、2年生4人、1年生9人の合計13人で日々の実習に取り組んでいます。

1年次には作物を育てる基礎や農業の一貫した経営技術など様々な知識、技術を身につけることができます。また、自分の専攻だけでなく、他専攻に行つて実習を行う機会もあり、幅広い分野の知識、技術を学ぶこともできます。

1年の後半には、1人1人が自分の育てたい野菜を決め、それに基づいたテーマを設定して栽培を行う卒論プロジェクトが始まります。野菜専攻では1人が1棟のハウスまたは露地畑での栽培を任せられ、作物の管理はもちろんハウスの整備等も自分で取り組んでいきます。私はイチゴの栽培を行っています。鉢受けから収穫までの管理は大変で、先輩、先生方にたくさんの迷惑をかけることも多かったですが、それでも大事に育ててきた野菜を収穫する時の喜びは他の学校では味わえないやりがいと達成感があります！野菜専攻では休日も自分の担当する野菜の管理や観察、ハウス管理など休みが少なく大変ですが、将来自分が就職した時に野菜専攻で学んだことは必ず自分の力になると思います！

農業に興味のある方、農業初心者の方、農林大学校に来て一緒に野菜を育てましょう！

野菜専攻で待っています！

私が農林大に入った理由は、将来自分の育てた花を自分の店で売りたいという夢があるからです。

私は農業に関わる高校出身ではありません。ですから、入学前は勉強や実習についていけるか少し不安でしたが、先生方や専攻のみんなが教えてくれるので、入学してからその不安もなくなりました。今では午後の実習の時間が楽しみで仕方ありません。

また、実習では1年生で入学したばかりなのですが、少しずつ作業をしています。トルコギキョウの芽を取る作業をしたり、切り花の調整をしたり、調整した花を自分たちで校内販売したりしています。毎日、いろんな作業をする新鮮さと、やったことのある作業をするときは前回よりも上手くやろうという向上心を持って取り組んでいます。これから一人一品目作っていったりもするので楽しみです。



花き専攻1年  
伊藤 成海

農林大では2年間で多くの知識と技術を学んで身につけることができます。花が好きで、少しでも興味がある人はぜひ花き専攻へ来て下さい。楽しい先生達や仲間と一緒に作業しましょう。花き専攻で待っています！！

## イベントカレンダー

4月

入学式



5月

春季スポーツ大会  
鳥取農大交歓会

6月

就農ガイダンス

7月

農大祭  
就職セミナー  
オープンキャンパス



8月

夏季スポーツ大会  
オープンキャンパス

9月

前期試験  
先進農林業者体験学習(2年)



10月

県外(大阪)学習(2年)  
中国地区農大生の集い

11月

秋季スポーツ大会



12月

日本農業技術検定

1月

冬季スポーツ大会  
中国四国農業大学校プロジェクト発表会  
卒論課題発表会

2月

就職セミナー  
全国農業大学校プロジェクト発表会



3月

後期試験  
卒業式

私は小さいころから植物が好きでした。また、中学生の時から親戚のブドウ農家のところで手伝いをしていたことから、将来は屋外での仕事に就きたいと思うようになりました。高校は普通高校の出雲西高校の環境コースを卒業しました。そこでは、授業の一環でここ農林大学校に実習に行くことになり、そこでの体験を経て農業の楽しさをさらに実感し将来は農業経営をしたいとおもい、農林大学校に進学を決めました。そして、現在果樹専攻に所属しています。



果樹専攻2年  
岩谷 隼汰

果樹専攻では主にブドウを栽培しており、その他に梨、すもも、さくらんぼ、みかん、柿などを栽培しています。農林大では基本的に午前中は講義、午後は実習というスタイルでやっています。午前中の講義では自営するときに必要になってくる農業簿記を学んだり、農業機械についても学びます。もちろんその他にも農業に大切な知識、技術をたくさん学べる授業もたくさんあります。午後の実習では、剪定作業、ブドウを種なしにするジベレリン処理や、機械を使って病害虫の防除をしたり、苗などの生育に支障をきたす雑草を刈り払い機などを使って除草するなどといった、植物たちの管理をします。どの作業もとても大変ですが、大変だからこそすごくやりがいを感じることができ、シーズンを終えてからの達成感もとても大きいです。学校行事では、季節毎にスポーツ交流会や、鳥取農大との交歓会、実習で作った作物などを売る農大祭など、イベント事も盛りだくさんです。他にも、就職や自営業に役立つ資格や免許も数多く取得できます。

少しでも農業に興味のある方、一般的な仕事に飽き飽きした方、ここ農林大はとても楽しく、とても充実した毎日を送ることができます！ぜひ農林大に来てみませんか？

私は、農林大学校に入って初めて牛について学び始めました。知識0からのスタートでしたが、毎日の実習や授業、当番を通して、日々たくさんのことを学んでいます。

農林大では、寮に入る人がたくさんいますが、農業という同じ夢を持つ仲間と一緒に生活するのはとても楽しいです。学校だけでなく、学生生活を思い切り楽しめるのも、農林大の魅力です。

農林大では、様々な資格を取ることができ、私も大型特殊免許やけん引免許、家畜人工授精師など、特に力を入れて取り組んでいます。肉用牛専攻では、牧草も作っているため機械に乗っての作業がたくさんあります。運転技術も身に付けることができ、何よりいろいろな種類の機械を使うのはとても楽しいです！

私は卒業後、JAで営農指導員になりたいと考えています。もともと雇用就農が希望でしたが、指導員という職業を知り、農業を違う角度から支える人になりたい、という夢に変わりました。私のように、新しい夢を見つけることができるかもしれません。やってみたいこと、挑戦してみたいこと、農林大に入ってチャレンジしてみませんか？



肉用牛専攻2年  
佐藤 陽奈

私の在籍している林業科では、森林組合や林業事業体で働くために必要な知識と技術を学びます。具体的にはチェーンソーを使った伐倒、高性能林業機械の操作、架線を用いた集材など、実践を想定した実習を行うことができます。これらの実習のなかには作業方法を誤ると危険な作業があったり、暑い季節の作業だったり、辛いこともあります。しかし最後までやり遂げた時、やりがいを感じるとともに、とても嬉しくなります。初めのうちは上手く出来なかった作業も実習を重ねるごとに次第に出来るようになり、達成感を感じることができました。

実習以外でも、森林経営や木材利用、樹木などに関する講義があり、幅広い知識を得ることができます。実習や講義で分からないことがあっても先生方が優しく、分かりやすく教えて下さるので、早く知識や技術を習得することができます。また、チェーンソー特別教育や車両系建設機械運転技能講習など、就職に有利な数多くの資格や免許を取得することができます。

林業科の学生の多くは寮で自炊生活することになるので、とても仲が良いです。時には寮内で食事と一緒に作って食べたり、友達と遊びに行ったりもします。

学校生活は二年間という短い期間ですが、しっかりと知識や技術を習得し、将来に生かしていきたいと思います。



林業科2年  
板持 孝祐

## 農大の一日

8:40~	8:50~10:20	10:30~12:00	12:00~13:00	課業準備	13:20~14:50	15:10~16:40	~17:00
HR	午前は講義中心		昼休み		午後は実習中心		課業整理
	1限(90分)	2限(90分)			3限(90分)	4限(90分)	
							



## 教育科目

農 業 科	共通科目	農業概論、作物概論、植物生理、土壌肥料、作物保護、農業気象、園芸施設、農業機械、農業機械演習、農業経営、マーケティング概論、マーケティング演習、農業政策、アグリビジネス、食の安全安心、農業組織論、野生鳥獣被害対策、環境保全と農業、農業簿記、農業簿記演習、情報処理、農業基礎実習 ほか	
	専 攻 科 目	有機農業	有機農業、有機稲作、有機農業先進事例講義、専攻実習（有機野菜・有機稲作）、地域農業実習、地域有機農業体験実習（先進農家での有機栽培体験）、先進地農林業者等体験学習
		野菜	園芸各論（野菜）、専攻実習（野菜）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
		花き	園芸各論（花き）、専攻実習（切り花、鉢花等）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
		果樹	園芸各論（果樹）、専攻実習（ぶどう、柿、梨、いちじく等）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
肉用牛	家畜飼養管理、家畜繁殖、家畜栄養飼料、草飼料、家畜解剖生理、家畜審査、家畜育種、家畜衛生、牛胚移植概論、畜産経営、専攻実習、地域農業実習、先進地農業者等体験学習		
林業科		林業概論、森林マネージメント、森林計画、樹木、森林測樹、基本測量、応用測量、林業経営、林業機械、森林作業システム、野外活動、森林機能、森林路網、育苗技術、育林技術、森林保護、木材利用、木材流通・販売、森林資源活用、森林土壌、木造建築、情報処理、専攻実習、先進地農林業者等体験学習	

## 先進農林業者等体験学習

2年生時に、先進的農林業地域や農林家で行う体験学習です。

目的	農林業経営及び農林業での生活を体験し、農林業に関する知識や技術を習得するとともに、農林業の担い手としての意欲の醸成を図る
受入農林業者等	農林業後継者の教育に理解と熱意のある、優れた農林業経営を行っている農林業者、又は農業生産法人、林業事業体等
期間	農業科はおよそ1か月、林業科はおおむね3週間

## 資格・免許

在学中、次の免許又は資格等が取れるように指導・便宜を図ります。

### ●全科共通

- ◇大型特殊運転免許 ◇フォークリフト運転技能者
- ◇ボイラー取扱技能者 ◇狩猟免許（わな猟免許）
- ◇車両系建設機械運転技能者（整地・運搬・積込及び掘削用）
- ◇毒物劇物取扱者（一般、農業用品目）
- ◇危険物取扱者（乙種4類） ◇けん引免許（農耕車限定）
- ◇ガス溶接 ◇小型移動式クレーン運転技能者
- ◇日本農業技術検定 ◇刈払機取扱作業者

### ●花き専攻

- ◇フラワー装飾技能士（2級・3級） ◇色彩検定

### ●肉用牛専攻

- ◇家畜人工授精師 ◇家畜商 ◇削蹄師

### ●林業科

- ◇林業種苗生産事業者 ◇林業架線作業主任者
- ◇機械集材装置運転者 ◇玉掛け技能者
- ◇チェーンソー作業従事者
- ◇森林情報士（2級） ◇救急法救急員
- ◇車両系林業機械運転業務従事者

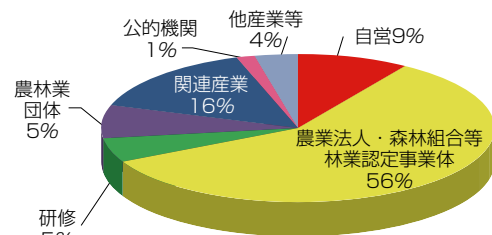
## 学校行事

- 農大祭をはじめ、スポーツ交流会、鳥取農大との交歓会など、学生自治会が中心になって運営しています。
- オープンキャンパス「緑の学園」を夏に開催しています。（平成29年は7月28日、8月2日、6日、21日（21日は午後のみ））

## 進路

卒業後の進路は、すぐに就農・就業（自営や農業法人、森林組合等に就職）する人、農協などの農業団体や農業資材販売など農業関連企業へ就職する人など多様ですが、それぞれの目標に向かって進みます。

本校では無料職業紹介事業を実施しており、個々の学生に応じた進路相談を行っています。



### 主な進路（H27、28年度実績）

- 自営就農：野菜、果樹
- 農業法人等：勝部農産、旭養鶏舎、山下牧場、石岡牧場、ゆとりの里下古志ファーム13、アグリみと、黒田農場、神田農産、出羽、ほなみ、槻之屋ヒーリング、まるなつ農場、イオンアグリ創造、中山農場、多久和農園、椋木畜産、大谷畜産、喜和会太陽の里、小林電気、島根ワイナリー、藤若農産、岡農園、だんだん牧場、アグリベスト奥出雲農園、中国牧場
- 農業団体：JAしまね、出雲市斐川土地改良区
- 森林組合等：森林組合（松江、出雲地区、飯石、邑智郡、高津川、西川広域、山口東部）、須佐チップ工業、山興緑化、浜田樹苗園
- 関連産業：ジュンテンドー、ヤンマー農機中四国カンパニー、一畑パーク、サザンクロス、プライダルギャラリー・ノバ、上口福祉会、若幸会
- 公的機関：島根大学

# 研修部門

農林大学校では、これから農業を始めようとする方などを対象に、各種の研修を行っています。  
各詳細については別途お問い合わせください。

## これから農業を始めようとする方への研修

研修名	内容	対象者	開催時期
島根県農業担い手育成研修	新たに就農しようとする方を対象とした農業技術研修で、有機農業・野菜・花き・果樹・畜産（肉用牛）のうち希望する分野で講義及び実習を通じて基礎的な栽培・飼育技術を身につけることができます。	新たに就農する方 定員 5名	4月～翌3月
有機農業実践研修	農林大学校ほ場での栽培実習と講義を通して、有機栽培の基礎知識・栽培技術等を習得します。	有機栽培実践者 有機栽培予定者 定員 10名	5月～10月 (週1回、全22回)
野菜実践研修	農林大学校ほ場での栽培実習を通して、野菜経営の基礎知識・栽培技術等の習得を行います。	島根県へのUターン者等 (予定者を含む) 定員 5名	5月～10月 (週1回、全17回)

## 林業技術を高めたい方への研修

研修名	内容	対象者	開催時期
林業エンジニア研修	林業の生産性向上を図るため、路網と高性能林業機械を活用した効率的な作業システムの導入・運用に必要な専門的かつ高度な知識・技術を備えた人材及び林業架線作業技術者を育成します。	認定事業者の職員等	路網・機械・架線・作業システムコースを設定 5月～11月の間に各2～10日間実施

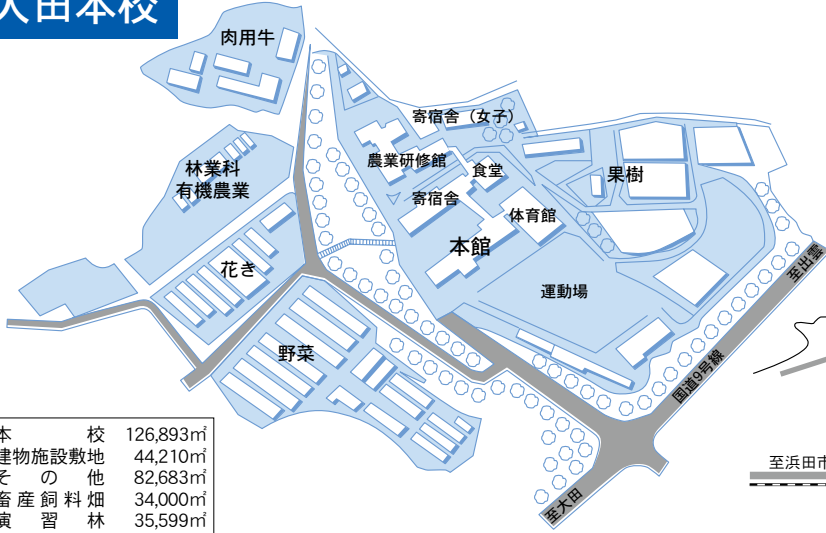
## その他の研修

研修名	内容	対象者	開催時期
しまねの農林業体験教員研修	県内の小中高校教員を対象に、農作業体験等を通じて農林業に対する理解促進や、農林業体験学習への取り組みを支援します。島根県教育委員会の後援研修です。	県内小中高校教員 定員 30名	8月中旬(2日間)



# 農林大学校 施設・設備 配置図

## 大田本校



### 案内図

- ・波根駅から徒歩約15分
- ・大田市駅から約6km



本 校	126,893㎡
建物施設敷地	44,210㎡
その他	82,683㎡
畜産飼料畑	34,000㎡
演習林	35,599㎡



### 清友寮(せいゆうりょう)

農林大学校敷地内にある男子寮です。部屋は一人一室です。



### 友波寮(ゆうなみりょう)

農林大学校敷地内にある女子寮です。部屋は一人一室です。



### 飯南寮(いいなんりょう)

飯南校から約3kmの地点にある学生寮(男女)です。部屋は一人一室です。

※清友寮・友波寮は有線・無線LAN、飯南寮は有線LANによるインターネット接続が可能です。

## 林業科(飯南校)



※飯南校は島根県中山間地域研究センター施設の一部を使用しています。

## 島根県立農林大学校

ホームページやfacebookで学校の様子を随時掲載しています。  
【新着情報】をチェックしてみてください。



(大田本校)

〒699-2211 島根県大田市波根町970-1  
TEL 0854-85-7011 FAX 0854-85-7113

(林業科)

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207  
TEL 0854-76-2100 FAX 0854-76-2103

E-mail nodai@pref.shimane.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>  
facebook <https://www.facebook.com/shimane.norindaigakko/>